

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 10 日

評価対象事業		評価者	スポーツ課長	江口 達也	
健福-56	重点事業	各種スポーツ行事事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	スポーツ課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	スポーツ・レクリエーション	施策の方針	市民スポーツ・レクリエーションの推進	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	身近なところで、自主的に、気軽に楽しむことができるスポーツの振興を図るとともに、指導者の養成と資質向上を図るため。
効果	市民のスポーツ・レクリエーションの推進やスポーツ・レクリエーション活動の支援を図る。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> 市民向けのスポーツ行事を開催するとともに、スポーツ指導者の育成などを行い、地域に根ざすスポーツの促進を図った。 市民の体力・健康づくりや地域コミュニティの活性化を図った。 市民スポーツ大会や初心者向けの教室を開催し、市民の競技力向上を図るとともに競技者の裾野を広げた。 子ども達を対象として、トップアスリート等から実技指導を受ける機会を提供し、ジュニアアスリートの育成を図った。 トップアスリートとの交流を図る機会を提供し、市民のオリンピック・パラリンピックやスポーツに対する機運の醸成に動めた。 オリンピック・パラリンピックの強化指定選手となった市民に奨励金を支給する制度を制定した。 障がい者スポーツの体験会や用具・写真パネルの展示により障がい者スポーツの普及・促進を図った。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯	・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	6,688	12,460	当初予算(千円)	14,116		
	国県支出金		2,327	国県支出金	4,756		
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	6,688	10,133	一般財源	9,360		
事業経費運営	人員配置数	1.0	1.0	人員配置数	1.0		
	人件費(千円)	7,615	8,229	人件費(千円)	7,914		
	総事業費(千円)	14,303	20,689	総事業費(千円)	22,030		
	市民1人当りの経費(円)	81	117	市民1人当りの経費(円)	125		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している 協働実施済の場合のパートナー 体育協会、スポーツ推進委員、地区スポーツ振興会

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	オリンピック関連事業として、ジュニアアスリート育成事業の充実、障害者スポーツの普及、オリンピック・パラリンピックの機運の醸成に注力する
	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	事業実施にかかる施設使用料、指導員の派遣及び普及啓発用パネルの作成の費用等を増額した。			

総評(評価に対する考え方、根拠等)	市民のスポーツ実施率の向上や健康維持・増進を目的として、市民のニーズに対応した各種教室やイベントの更なる充実を図る。又、身近なところで気軽にスポーツが実施できるよう地域スポーツの振興を図る。東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、機運を醸成し市民のスポーツ振興につなげるとともに、ジュニア世代を対象に教室を開催し市民の競技力向上を図る。障がい者スポーツに対する理解を深め、あらゆる市民がスポーツに親しめる環境を提供する。
-------------------	---

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	・東京オリンピック・パラリンピックに向けた競技力向上に資する事業を競技団体と連携を図りながらより充実する必要がある。 ・障がい者スポーツの推進に向け、イベントの実施に向けて関係団体等と調整を更に図る必要がある。
課題解決のために行った平成29年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ジュニアアスリート育成事業は、体育協会及びプロチーム、実業団チーム等との連携を図り、従前よりも多くの種目を開催した。 ・障がい者スポーツを紹介する写真パネルを作成し、スポーツ施設に常設した。 ・教育委員会及び関東車椅子バスケットボール連盟と連携し、授業の中で体験会を実施、又、スポーツ・レクリエーションフェアやマリンスポーツフェアでは東京ガス㈱や神奈川県との連携によりポッチャの体験や競技用義足・車椅子の展示などを行い、障がい者スポーツの普及・促進を図った。
未解決の課題、新たな課題とその理由	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者等との連携により民間のノウハウを活用しながら市民ニーズに対応した各種教室の更なる充実を図る必要がある。 ・東京オリンピック・パラリンピックに向けた競技力向上に資する事業の開催には競技団体との更なる連携を強化する必要がある。 ・藤沢市で開催される東京オリンピック・パラリンピックセーリング競技会に向けて市民の機運を醸成するためマリンスポーツの普及促進を図る必要がある。

- 解決
 一部解決
 未解決

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	県民スポーツ月間(9月～11日)でのスポーツイベント開催数(神奈川県が公表している最新の情報を利用しているため平成28年度の実績。又、数値がカッコのものは雨天等により中止したため計画数を記載)									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	秦野市	小田原市	平塚市	逗子市	南足柄市	三浦市	
他市実績	5	2	1	(1)	2	2	2	2	(1)	

比較事項	祝金交付数									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市							
他市実績	26	89	71							

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	神奈川県がスポーツ月間と定めた期間(9月から11月まで)における市主催スポーツ行事数により、生涯スポーツの普及に向けた取組みを比較する。又、祝金交付実績は、全国大会や国際大会に出場する市民に交付するものであることから、市民の競技力を測る指標とした。
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	スポーツ・レクリエーションフェア参加人数						単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
年齢・経験・運動能力を問わない ニュースポーツやレクリエーション の普及状況の把握に繋がるため	目標値	500	500	500	500	500	500				
	実績値	321	295	343	323						
	達成率	64.2%	59.0%	68.6%	64.6%						
指標の内容	地区スポーツ振興会協議会スポーツ行事参加参加人数						単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
地区スポーツ・レクリエーション活動 の活性化の状況を把握するため	目標値	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000				
	実績値	53,714	57,590	46,452	47,482						
	達成率	89.5%	96.0%	77.4%	79.1%						
指標の内容	健康ウォーク参加人数						単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
健康づくりやスポーツに取り組む きっかけづくりに繋がる健康 ウォーク「歩け鎌倉」の充実を図 るため	目標値	400	400	400	400	400	400				
	実績値	52	112	133	145						
	達成率	13.0%	28.0%	33.3%	36.3%						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	参加者数が横ばいである状況は、周知方法や企画見直す必要があると考えられる。周知方法はHP、SNSだけではなくわかりやすいチラシ、ポスターの配布や掲示方法の検討も求められている。企画についてはより多くの市民が参加できる内容が求められていることが考えられるため、ニーズを把握し対応していく。
-----------------------	---